

法人理念		支援を必要とする人たちの幸せを実現する	
事業所理念		利用者及び保護者の意思及び人格を尊重し、利用者と保護者の立場に立った適切な児童発達支援の提供を確保する	
支援方針		障害児が他の児童との集団生活に適応することができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援を行う	
営業時間		月～土（国民の祝日・12月29日～1月3日は除く） 営業時間 午前8時30分から午後5時30分とする 開所時間 通常日（学校授業日） 午後2時から午後5時30分まで 学校休業日 午前9時30分から午後4時30分まで	
送迎の有無		有	
本人支援	健康・生活	セルフケア	・日課を考慮した排泄タイミング、持ち物の管理、スケジュール管理の自主性を支援
		健康増進	・生活リズムの自主的コントロール 日常的な運動習慣を定着を支援
		感染対策	・手洗いうがい、状況によるマスクの使用の自主的実施
		防災教育	・緊急時避難訓練における自主的参加と定着
		環境設定	・部屋割への配慮と活動による部屋の自主的選択等
	感覚・運動	基本技能	・粗大運動と器具を用いた日常生活動作に必要なより細かい運動の習得を支援
		生活の中での機能向上	・書字・食具の使い方・お菓子の袋開け・ブロック類での自主的な巧緻動作・構成能力向上を目標に支援 ・調理実習等での洗う・切る・むく・盛る・注ぐ等の習得を支援 ・煮る・焼くなど火の取り扱いと熱い物への自主的配慮を支援
		視聴触覚	・個別的に感覚の特性をとらえて活動のメニューを立案 ・製作活動で好みの道具を用いて視覚・触覚や固有受容覚の協調を促進 ・活動内容を考慮したモチベーションを高める支援
		バランス・平衡感覚	・バランス・平衡感覚能力の向上のため、園庭での活動で、竹馬・ホッピング・球技・鬼ごっこ等、プレイルームでのブランコ・エアートランポリン等の活動を提供
		環境調整	・感覚過敏等に対応し、児童の行動や表情・訴え等を読み取り、苦痛のない環境を提供
	認知行動	概念形成	・達成されている基本的概念形成をもとに、身の周りに起きていることについて主体的に話す機会を作り、言語化を促す支援
		概念拡大・分化	宿題等の学習指導における現在の到達点の把握と段階を迫ってより抽象的な概念形成への支援。 他者からの働きかけ・ことばがけを出発点とし、自ら考えること（概念操作）を支援 職員や他の児童の説明・質問等を利用
		偏りへの対応	・偏りによる2次的な精神的負荷で不安等を起さないよう、一方的に否定しないよう支援 ・偏りが本人や周囲に与える影響を十分考慮して対応 ・偏りを強めている理由を職員で考え対策 ・ひとりひとりの児童の特性に応じた、より多くの刺激の受入れと活動への興味・参加を促すような個別的支援
	言語・コミュニケーション	コミュニケーションの成立	・非言語も含めたコミュニケーションの成立を支援 ・自分からコミュニケーション場面設定を行うことの支援 支援に際しての本人の気持ちの読み取りと「きっかけ」を作る支援
		相互交渉	・周囲の職員・児童とのコミュニケーションが連続するような個別に合わせた有効なテーマ・場面（相手）・方法の提供

本 人 支 援	言語・ コミュニ ケーション	言語理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員や他の児童との関係性を大切に、相手の話をよく聞く基本的態度とわからない時に質問することを支援</li> <li>・年齢や個別の発達状況に応じて、ことばでの説明がわかることを大切に意図的な聞き取り機会の提供</li> <li>・児童同士の理解の場面を利用し、職員がお互いの気持ちを代弁するなどして相手の気持ちの理解ができるよう支援</li> <li>・理解しづらいことばの特徴をチェックする。</li> </ul>
		言語表出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表出が有効に相手に届くために、ことば等表出等より相手の意思を読み取ることを大切に支援</li> <li>・表出の機能的な課題については、声の大小・スピードは身体の運動機能を高める活動を利用</li> <li>・強弱、速い-ゆっくり等は身体活動での経験を重視</li> <li>・構音（発音）については、目標音の構音様式に類似した活動を提案</li> </ul>
		読み書き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題等学習活動支援で、現在の到達点を見立てできることを増やす支援</li> <li>学校等での指導方法を参考に支援</li> </ul>
	人間関係・ 社会性	愛着行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内の場所・職員・友達に慣れ、自発的な関りが持てるよう支援</li> <li>・年齢に応じた友達との協力・友達への援助等、愛着行動・愛着表現を個別的に把握し支援</li> </ul>
		模倣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日課等の実行・遊びの選択・遊び方の学習等の中での模倣を促進 個別に得意な模倣モダリティ（動作・活動・ことば・表現活動、視覚的模倣・聴覚的模倣等）を個別的に把握し個別支援計画に記載。</li> </ul>
		見立て・見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作・身体表現等個別的に好きな活動を通して、見立てとその共有の促進を支援 見通しのためのツール（絵等視覚的サイン、カレンダー・時計等時間の視覚提示）の利用</li> </ul>
		情動コントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己表現をする中で自分自身の状態の理解を促進</li> <li>・支援者との信頼関係を基に、代弁（言語化）を受け入れられるよう支援</li> <li>・現状報告・拒否・否定等での自己表現を保障</li> <li>・個室等クールダウンできる場所を設け、自身で落ち着く経験の積み上げの支援</li> </ul>
		集団参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の状況による、活動・遊び等のテーマ別グループ活動への参加支援</li> <li>主体的な参加のため集団遊びのテーマ選定、グループ作り（人数・児童の特性等）など工夫</li> <li>・各児童に役割取得確認 または協議による役割分担 達成感が得られるような支援 うまくいかない時の精神的なフォローと課題の共有</li> <li>・年齢に応じて社会生活に必要な技能獲得のためSST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施</li> </ul>
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子行事での療育場面の提供。連絡ノート・個別相談・複数名での相談会・研修会</li> </ul>	
	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者・担当職員中心に移行先の情報を収集 移行先で必要な内容を目標に支援</li> </ul>	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との情報共有 相談支援事業所と長期的な連携</li> </ul>		
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人・事業所内職員研修 災害対策・感染対策研修会</li> <li>・事業所内外療育関係の研修会への参加</li> <li>・療育講演会企画・運営</li> <li>・関係機関連携学習会（セッション）での療育支援者との意見交換</li> </ul>		
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に合わせた外出行事（川遊び、とうもろこし狩り、サツマイモ掘り、雪遊び等）</li> <li>製作等親子行事</li> <li>造形教室（外部講師による）</li> <li>各種避難訓練</li> </ul>		